

## 消化器外科 II に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 膵神経内分泌腫瘍の切除膵検体を用いた細胞内代謝変化の検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 中村 昭伸  
北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室・講師

[研究の目的] 膵神経内分泌腫瘍患者の切除膵検体を用い、同腫瘍ならびに付随する膵組織中の膵島におけるPFKFB3発現が亢進しているかを検討します。PFKFB3は細胞内の代謝に関わる重要な酵素で、様々な癌において発現が亢進し腫瘍の増殖に関与することが知られます。そのような性質から、近年癌の治療標的としても着目されています。付随する膵島においてはPFKFB3陽性膵β細胞比率および発現強度と臨床情報との関連を検討することで、どのような因子がPFKFB3の発現に寄与するかを探究します。

### [研究の方法]

#### ○対象となる患者さん

神経内分泌腫瘍の患者さんで、2003年4月1日から2021年8月31日の間に当院で膵神経内分泌腫瘍に対し手術が行われ、同意をいただいたうえでその膵組織標本が保管されている方

#### ○利用する検体・カルテ情報

検体：病理組織標本

消化器外科 II、病理部に保管されている試料（残余ホルマリン固定パラフィン包埋組織検体）を利用する。

カルテ情報：

①患者さんの情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理診断結果）、併存疾患、神経内分泌腫瘍に対する治療内容、糖尿病を有する場合には糖尿病罹病期間・糖尿病合併症・糖尿病治療薬

②血液学的検査：ヘモグロビン、白血球数、白血球分画、血小板数

③血液生化学的検査：ALP、総ビリルビン、アミラーゼ、リパーゼ、アルブミン、AST、ALT、総蛋白、LDH、クレアチニン、BUN、Na、K、Cl、血糖値、HbA1c、Cペプチド、インスリン、中性脂肪、総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール

- ④尿検査：尿定性、尿沈渣、尿中アルブミン、尿クレアチニン
- ⑤画像検査：CT・MRI・PET-CT・超音波検査

[研究実施期間] 実施許可日～2026年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に検体や情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院 糖尿病・内分泌内科 担当医師 中村 昭伸

電話 011-706-5915 FAX 011-706-7710